

# やまと 得々ニ情報

第 41 号

1999年12月 1日

URL;http://www.synapse.ne.jp/~yamato-kk/

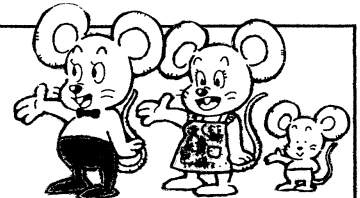
大和木材株式会社

〒891-1105

日置郡郡山町郡山1466番地

TEL;099-298-2288(代) FAX;099-298-2290

## …通風・換気…健康住宅のために



日に日に寒くなり、やっとならしい気候になってきましたが、この季節は、家の窓を閉め切り、換気回数が少なくなりがちです。昔の日本の住まいには天然材料を活かす知恵が息づいており、障子・畳・高い床下など、優れた調湿性と自然換気の機能を備えていましたが、現在、高气密・高断熱の住宅が増えてきており、自然換気がなかなか出来ない状況にあります。そこで人間の健康や家自体の健康を保つための通風・換気の役割について考えてみました。

換気の役割というのは、台所の炊事で生じる煙や臭い、水蒸気の排出、また浴室やトイレの水蒸気の排出や乾燥、臭いの排出だけが対象ではありません。その他に人間に有害となる汚染物質の排出と新鮮空気の導入、さらにカビ、ダニ、結露、酸欠などの防止という重要な役割を持っています。換気は人間の呼吸活動にも似ていて、室内空気を調節する働きを持ち、気密性の高い住宅での快適性には換気促進が不可欠となります。暮らしの中での換気の促進は快適な住まい環境作りの基本です。

換気には自然換気と機械換気があります。自然換気は室内外の温度差や窓、換気孔や隙間などを通じて自然に空気が流動することにより換気するものです。そして機械換気は、動力を用いて強制的に空気の送り込みや排気をして換気を行うものです。換気を目安として、自然換気の場合2時間に1回、機械換気では1時間に1回の換気が必要になります。また、浴室は天井の水滴が消えるまでの約1時間程度、台所は炊事時の換気はもちろん、調理後もしばらくは換気が必要です。また冬の結露防止には、就寝前5分間の通風が有効です。

健康住宅という言葉が最近よく耳にしますが、快適な生活を送るためには人間の健康はもちろん、住宅も健康でなければなりません。暖房器具を使う寒い季節は、室内に汚染物質が残りがちなのでドアや窓を全部開け放して、風が通るようにし、空気を動かすように心がけましょう。

[商品情報] 棧、ノゴメ、野地板等が品不足で高値安定です。

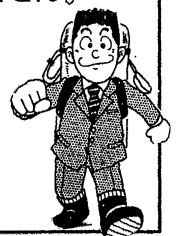
[情報] コンピューター2000年問題が話題になっていますが、対策は大丈夫ですか。政府や公共団体、大手企業等は安全宣言をしていますが、それでも何が起こるか分からないのが本当のところでしょう。コンピューターが無いから関係ないというわけにはいきません。最近の電化製品や自動車等、いろんなところに小さなコンピューターが内蔵されています。年末から年始にかけて、せめて食べ物や水の備えと携帯ラジオや懐中電灯と現金を手元に置き、余り外出しないようにするのが良いと言われております。何もなければそれにこしたことはありません。

“備えあれば憂いなし”。

《定休日》12月は、5、11、12、19、26、29、30、31日になります。

1月は、1、2、3、4、5、9、15、16、23、30日になります。

ご協力宜しくお願いします。



(お問い合わせは、お客様サービス係の森園まで)